

子供の町 だより

創刊：昭和 24 年 11 月
発行：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
住所：埼玉県春日部市西金野井 337 番地
電話：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<http://kodomonomachi.jp/>



ご挨拶

社会福祉法人 子供の町
理事長 齊之平伸一

8月24日に、有限会社 人事・労務さんと子供の町（理事長、施設長、事務長、副施設長）との会議を実施しました。テーマは、人事給与、女性活躍などです。

子供の町では、職員が入所する子どもたちと温かい人間関係を深め、子どもたちが精神的、経済的に自立できるよう養育しております。

高い志を持ち、仕事に取り組んでいただいております職員の皆様が、働き甲斐を持ち、安心してその能力を発揮できるよう、外部の専門家の方々より助言を得て、人事制度の改善を行ってまいりました。

給与の面では、埼玉県職員給与、他の福祉施設の給与水準と比較し、均衡が保たれるよう調査し、改良をしております。

また、女性活躍につきましても、心理的安全性を配慮し、個性と能力を十分に発揮できるよう改善を行っております。

今回は、女性活躍推進法に基づく計画と

届出について討議しました。

今後も、職員の皆様の納得度、満足度が更に向上し、それが子どもたちの健全な成長と発達につながられるよう、継続的な改善を行う所存でございます。

「これからどの道を行こうか」

社会福祉法人子供の町 会長
田中 文男

9月です。そろそろこれから進むべき方向を考える季節になりました。

私自身、理数は苦手でした。基礎をしっかり勉強しなかったからです。ただ、小学生時代から本を読むことは好きだったので、将来は新聞記者のようなマスコミの仕事をしたと考えていた時もありました。あるいは教師になれたらいいなと思ったこともありました。

そのためにはまず大学にはいらなければダメです。当時は進学適正検査というテストがあり、まずそれを通過しないと大学進学はできませんでした。

ともあれ、私は無事大学に入ることができました。文学部・日本文学科。やれやれで

す。

しかし、文学部なのに必修科目の中に数学や物理がありました。ひどいショックです。

更に第二外国語も学ばねばなりません。私の中学生時代は英語の上手な先生があまりおりませんでした。日本はアメリカと戦争をしていたため、敵性外国語として英語を習わせなかったのです。当然、英語の先生が育つわけがありません。

教える先生も英語が下手。教わる方は更にダメ。高校の入試に英語のない時代だったのです。それでも大学入試は英語が必修。入っても必修。これは大変だと思いました。

大学生活四年はあっという間に過ぎました。四年生迄必修の生物はギリギリまで引っ張りなんとかクリアして卒業しました。

あまりにも自分の力が不足しているのに気づきジャーナリストの道は諦めました。教員の免許は中学・高校とも取得しましたが、もう少し勉強もしたかったので仕事をしながら大学院に行くことを決めました。

選んだ職種はバイト時代からの延長で医科器械の道。そこが海外輸出に重点を置くメーカーでした。

生物や物理、科学も全て必要なのが医科器械の道。全く分らない分野なのに血管とは何か？血圧とは何か？なぜ上がったたり下がったりするのか、動脈硬化とは何か、全てを理解しないと仕事にならないのです。胸の鼓動を聞き身体の変調を知る聴診器。振動と鼓動はどう違うのか。それを説明出来ないビジネスになりません。まして外国に売るとなると英語は出来て当たり前。

この会社で修行をし、今から五十数年前に独立。開業致しました。自分の考えていた

道とは全く異なる世界で、外国相手によくビジネスが続けられてきたと自分でもあきれています。訪れた国は約五十か国。むろんロシアや付近の国にも行きました。ほとんどひとりで行動してきました。

さて、私は何を言いたいのでしょうか。異なる世界に入っても、真正面からぶつかり、自分で道を開く努力をすると、何とかなるものだということです。気がついたら埼玉県内の高校山岳部の顧問をしたり、それ以上に子供の町、という素晴らしい場所で会長を務めさせて頂いています。教師以上の育てる楽しみがある子どもたちが沢山います。

「石の上にも三年」と言われますが、その道をどうするかを決めるのは自分です。

時には「あきらめ」も必要でしょう。しかし、「やれるだけやってみる」のも生きる道です。

さて、この続きは、一度みなさんとゆっくり話し合えましょうよ。コロナの行方が分かったら。

そう、そう。大切なことは人を裏切らないこと。信頼される人になること。そのためには正直に生きて行きたい。それが最初でしょう。



「当事者の視点を尊重した施設づくり」

子供の町 施設長

坂本 仁志

思い起こせば一年前の夏は、東京オリンピックが開催されて、無観客ながら選手たちの躍動する姿は、私たちに多くの感動を与えてくれていました。一年の時の流れがあっという間に感じるようになりましたが、今年の夏は3年ぶりに行動制限のない夏休

みを迎え、子どもたちは久しぶりに外出行事などを体験することが出来ました。海や山、レジャー施設などに出かけ、夏休みの楽しい思い出が出来たのではないかと思います。

少し時間を遡り夏休み前の 7 月 6 日～7 日には、関東ブロック児童養護施設研究協議会がハイブリッド方式で開催されました。今大会は、施設長等が社会的養護の動向を理解し、すべての子どもたちの命と人権が守られるよう協議する場として、今年は埼玉県が当番県として大会の企画・運営を担い 400 名近くに及ぶ参加者がありました。

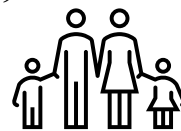
「多様なニーズに応える新しい時代の児童養護施設とは」～当事者の視点を尊重した施設づくり～というテーマのもと、基調報告や分科会、シンポジウムが実施され、当事者だったケアリーバーの方たちが参加し、当事者の視点からの意見発信が印象に残る大会となりました。

私も分科会で発題させていただき、改めて施設は子どもたちのために存在するものであり、施設の運営には、子どもたちの意見や意向が反映されなければ、その存在価値自体を問われることになるのではと感じました。また多様なニーズに応じていくには、変わり行く時代と共に柔軟に対応できる組織作りや支援の質の確保が必要になってくると感じています。現状維持に留まらず、向上心をもって社会の期待に応える施設作りを目指していかなければと思います。

そんな中、この夏に、新たな事業の受け入れがありましたので紹介します。今年度から春日部市と「子育て短期入所生活援助事業」の業務委託契約を締結しました。この事業は、地域子ども子育て支援事業の一つで、

保護者の方の入院や通院、出張や冠婚葬祭などにより、一時的に家庭でお子さんを養育できなくなった場合等に、児童養護施設等で一時的にお子さんをお預かりする事業です。

春日部市在住のご兄弟を家族の仕事のご都合でとの理由で 7 月に一週間の受け入れを行ないました。これまで児童相談所から一時保護委託での受け入れは多くの実績があったものの、今事業での受け入れは初めてでしたので、手探り状態での受け入れでした。日中は、在籍する小学校に送迎サービスを利用して通い、無事に一週間の受け入れを終えることが出来ました。地域には、共働きやひとり親家庭など、何かあった時に子育てのサポートを必要とされている方がいます。今事業に限らず地域に存在する資源として、私たちの施設でサポートすることが地域の福祉の向上に繋がればと思っています。



さて、今年の 11 月にはサッカーのワールドカップカタール大会が開催されます。日本は強豪国と同グループに入り、厳しい試合になると予測されていますが、昨年のオリンピック同様、世界で躍動する選手たちが私たちに勇気と感動を与えてくれるのではと期待しています。私たちも子どもたちの可能性に期待し、当事者の視点を尊重した施設づくりを目指していきたいと考えています。

「夏休みを終えて」

エンジェルホーム施設長
西村洋平

子どもたちにとって楽しい夏休みも終わ

り、2 学期に入りました。

今年の夏休みは施設内でクラスターが発生し、子どもたちは 2 週間にわたり寮内の隔離生活を余儀なくされてしまいました。

外出行事は予定通り実施されましたが、感染者が出た寮の子どもたちは参加できなくなってしまい、中には予定されていた保護者との交流が中止となってしまい、残念な思いをした児童も数名おりました。

幸いにも重症化する児童はおらず、数日で体調は回復しましたが、隔離期間の 3 分の 2 ほどは自由に外出や外遊びの出来ない状態で過ごしてもらうこととなり、子どもたちにとってはつらい期間となったのではないかと思います。

そこに対応して頂いた職員の心労も計り知れないものがあつたかと思えます。感染するかもしれない不安と、実際に感染してしまう職員も複数出てしまい人員不足の中での勤務、子どもたちは日を追うごとに体調が回復し活発になり・・・そういった中での勤務を乗り切っていただき、感謝に堪えません。

この件につきましては、8 月 24 日に埼玉県より COVMAT が派遣される運びとなりました。感染状況の確認と、実際にクラスターとなっている現場の感染拡大防止の対応を視察して頂き、不完全な部分への助言と疑問点への回答をしていただきました。

ゾーニングの足りない部分があるとの指摘をしていただき、新たにゾーニングをしてもらうこともできましたが、何より概ねよくできているとの評価もして頂けたということが、対応に追われる職員にとっては励みになったのではないかと思います。

一方で、今年も中高生との施設長面談を

実施することが出来ました。クラスター発生のため一部は夏休み中に実施できず延期となった児童もおりましたが、3 分の 2 ほどの児童と個別で話をすることが出来、ほとんどの児童が素直に部屋を訪れ 30 分程話に付き合ってくれました。

ざっくばらんに施設生活や学校生活のこと、将来のことを話しましたが、ほとんどの児童が「生活については可もなく不可もなく・・・将来の夢も今はない」といった答え。しかし、一部の児童は楽しそうに将来の夢を語ってくれました。実現できるかどうかは別として、キラキラした表情で夢を語る子どもを目の前にするとこちらまでうれしい気持ちにさせられました。

未来に希望を持ち、将来の夢を人に語る事が出来るというのは、その子の自己肯定感の高まりや、現在の生活が充実しているという事でしょう。そのような子どもたちが増え続け、また様々な夢を聞かせてもらえることを楽しみにしたいと思います。

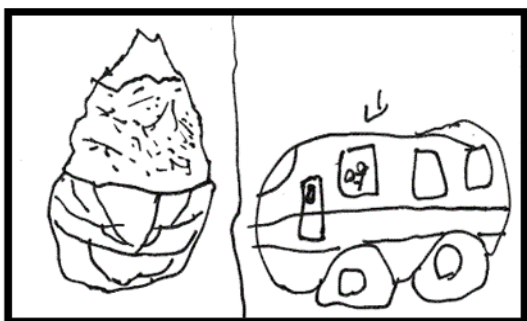


「やっと遊べた夏休み」

子供の町 わかば 廣瀬梨乃

昨年の夏、私にとって初めての子供の町での夏休み。それは大変悩ましいものでした。昨年はコロナが流行し緊急事態宣言が出ていた為、寮外出・夏季活動が無くなり、帰省と面会も出来ず、近くの外出も叶わないといった状況にありました。夏の暑さも

あり、段々とイライラが積もっていく子どもたち、その対応をする職員。毎日喧嘩や注意が途絶えず、落ち着かない日々でした。何もしないでゆったりと過ごすことは、職員にとっては有意義にもなり得ます。しかし、そんな毎日で夏休みが終わっていくのは、子どもたちにとって大変悲しいことだったでしょう。そんな今年の夏を経験した子どもたち。今年の夏はキラキラとした満足気な笑顔で過ごしていました。夏季活動のオリエンテーション後、すぐに準備をして入念に確認していたり、行く前から「〇〇に行くんだ」と誇らしげに何回も話してきたり。そして帰って来てからも「楽しかった、あっという間だった、もっとそこに居たかった」と思い出を噛み締めていました。来年も子どもたちの笑顔あふれる夏休みとなることを祈ります。



「ばすにのってかきごおりをたべにいきました」

子供の町 わかば 小2 R.Y.

「夏休みの思い出」

子供の町 3寮 小6 H.Y.

ララガーデンで映画をみました。みた映画は、ワンピースフィルムレッドです。映画をみにいくと言われた時はうれしかったです。フィルムレッドはワンピースの中で一番おもしろかったし、かっこよかったです。

僕の好きなキャラクターはシャンクスとウタです。映画ではシャンクスが来て、ウタを助けるところがかっこよかったです。この映画は色んなキャラクターや歌がいっぱい出てきてかっこよかったです。歌は「新時代」と私は最強が好きなので気に入って毎日聞いています。あと、映画をみている時に食べたポップコーンが美味しかったです。

映画館の予告で映画どろぼうがでてきて、映画館だな～と思いました。とくてんがもらえなかったのがざんねんです。もう一回みにいきたいと思いました。

「夏の思い出」

エンジェルホーム 9寮 高2 R.Y.

私にとって一番思い出になったことは 8 月 14 日に行われたしらこぼと水上公園への寮外出です。寮外出を選んだ理由は 3 つあります。1 つ目は、私個人のことで、数年ぶりに学校以外のプールに行ったからです。そして、初めは「泳がない」と言っていたのですが、結局誰よりも騒いしまい筋肉痛になるという失態を演じてしまいました。2 つ目は、普段はお仕事で見せない職員の姿を見ることができたことです。例えば、いつも仕事に忠実で怒ると怖い職員が子どもたちと笑って過ごしている姿などがありました。3 つ目は、寮で最高学年として自覚を持ち小学生の面倒を見たからです。これは、寮外出を選んだ理由とは少し異なりますが、私自身にとって将来の糧となるし夢に生かせるはずだと思いました。今回の寮外出を経て、公共の場での行動、最高学年



としての自覚を改めて考えるきっかけとなったので、とてもいい機会になりました。

「なつやすみのおもいで」

エンジェルホーム 5 寮 小 3 M.O.

うみにいったときに、なみがすべりだいたいみたいにうきわにのってすべるのがたのしかったです。かきかつどうで 1 ぱく 2 日で 2 日めにおおわらいすいぞくかんにいきました。すいそくかん

がふねのかたちになっていてすごいと思いました。いちばん心にのこった魚はカ

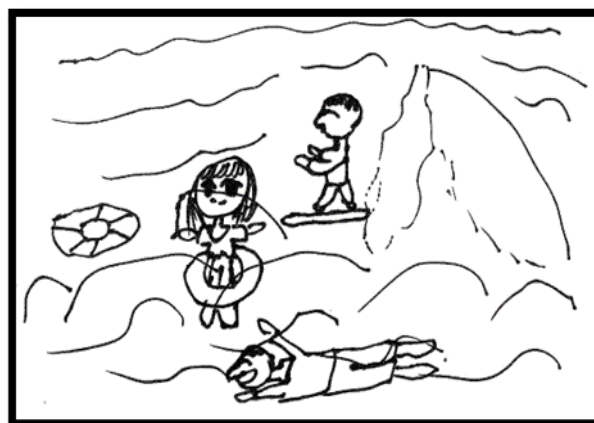


ラフルでかわいい魚でした。いろいろなさかながいてこんなにさかながいるんだなと思いました。いるかしょうではせきがうしろだったのでよくみれました。そしているかしょうで水がかからなくてうれしかったです。わたしもいるかしょうの人になってみたいです。わたしがこどもの町をでたら、1 人でおおわらい水ぞく館にいきたいです。

「夏休みの思い出」

菜の花 中 2 Y.Y.

私は夏休みに茨城県の大洗サンビーチに行きました。寒かったけれど海に入れて楽しかったです。大洗サンビーチではたくさんハマグリがあり、キレイな貝がらもありました。お昼は浜辺で大好きなおにぎり 2 個を食べました。梅干しも食べました。おいしかったです。人が混んできて、あまり長くいることは出来なかったのですが楽しい 1 日になりました。次に行くときは、もっとあたたかくて人が少ない時が良いなと思いました



「うみにいきました」

エンジェルホーム 5 寮 小 3 M.O.

「子供の町での夏の思い出」

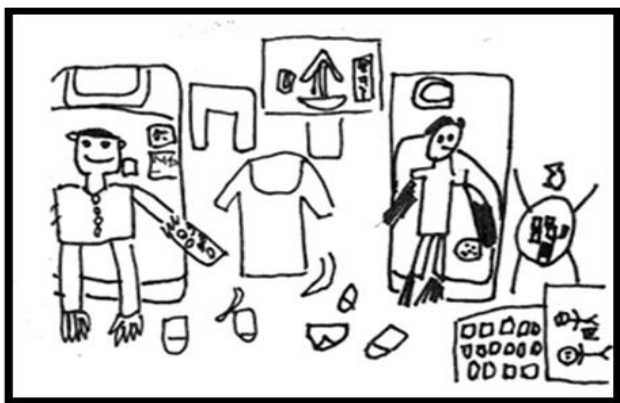
子供の町 ひまわり 渡邊 美月

私の子供の町での夏の思い出を 2 つ書きます。

1 つ目は小 6 夏季活動の付き添いで秩父に行ったことです。1 日目にラフティング、2 日目にピザやうどんの手づくり体験をしてとても充実した 2 日間でした。初めての泊まり外出の付き添いで、関わりのない子どもたちばかりだったので緊張もありましたが、子どもたちが分け隔てなく接してくれて一緒になって楽しむことができました。

2 つ目は寮外出の付き添いで那須に行ったことです。子どもたちが前々から楽しみにしていた外出という事もあり、普段の生活では見せない楽しそうな表情が見られて嬉しかったです。普段、関わりの少ない中高生やたんぼ寮の子どもとも話すことが出来たのも良かったです。

ここで挙げた 2 つの他にも日々楽しいことがあり、たくさん思い出ができて充実した夏でした！



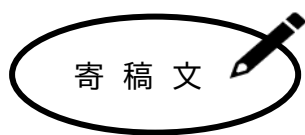
「ホテルにとまりました。ふかふかなベッドにおおきなまくら。おやつをたくさんたべました。」

子供の町 たんぽぽ 小3 T.K.



「キャンプにいてバーベキューをしました」

エンジェルホーム 5寮 小2 N.F.



「ぼくのしょうらいのゆめ」

エンジェルホーム 6寮 小2 K.M.

マンガかになりたいです。ぼくはじゅうなじかんは絵をかいていて、絵がうまくなったとおもえるほどじしんがつかしました。ドラゴンボールのアニメを見ていたときに、

こおりの山のぼめんがあり、その絵がすごくきれいだったので、ぼくもこんなふうにもっとうまくかけるようになりたいとおもいました。今は絵をかくれんしゅうをしながら、国語のべんきょうをがんばって、いつかは自分のものがたりを作ってみんなによんでもらえるようになりたいです。ぼくはみんなにちゅうもくしてもらえることが好きなので、にんきもののマンガかになれるようがんばります。



「次はどここの国へ…」

エンジェルホーム 9寮 荒井健太

私は海外へ行くことが好きです。この職場に来る前は西アフリカにあるベナン共和国で1年9ヶ月ボランティアとして働いていました。それ以外にもマレーシア、フィリピン、タイ、でボランティア、観光ではアメリカ、フランス、スペイン、モロッコなど、合計8か国に今まで訪れました。海外が好きな理由は深い理由があるわけではなく、「面白そうだから」みたいなふわっとした理由です。ボランティアに参加した理由もそんな感じです。「困っている人々を助きたい」とかそんな大層な理由ではなく「日本で働きたくないなー」と学生のときに思い、就活せずにこのボランティアに応募しました。

海外を訪れる理由はふわっとしていますが、やっぱり海外は面白いです。日本と違う景色、食事、言葉、文化、宗教に触れることができ、その全てが興味深いです。今はコロ

ナが広まっているので行くことが難しいですが、いつかおさまったらまた違う国へ行ってみたいと思っています。

「復帰しました」

エンジェルホーム

家庭支援専門相談員 大塚美帆

昨年の 7 月に無事に出産し、約 7 か月間の育休を取り今年 4 月から職場復帰しました。産休も合わせると 10 か月ほど職場から離れていたため、復帰が決まりホッとしつつ不安もありましたが始まってしまえばあっという間の日々です。

起床から始まり、帰宅後は 3 時間足らずで就寝時間となり、その時間に子どもと一緒に寝てしまうこともしばしば。関わる時間は少なくなりましたが、密の濃い時間を過ごせるよう夫婦ともに意識しています。

仕事面ではというと、久しぶりに会う子どもたちの顔つきが大人っぽくなっていたり、身長が伸びていたり驚き成長を感じることが多くありました。そうした成長を



また傍で見ていけることを楽しみに、自分に与えられた職務を精一杯務めていきたいと思っています。

「コロナ禍 3 年目の夏」

子供の町

家庭支援専門相談員 竹山洋祐

新型コロナウイルスが世界的に流行して 3 年という月日が経ちました。今年の夏は行動制限のない夏ということで夏季活動やその他の外出・外泊も実施することができ、少しずつ以前の様子を取り戻してきたのかなとも感じています。一方でコロナの罹患

者は全国的・世界的に多く、クラスターも発生しているのが現状です。8 月後半に予定されていた施設での夏祭りも延期となってしまったのは残念でした。それでも「with コロナ」のもと出来る対策や予防を行い新しい生活様式が出来つつあるように思えます。まだ、制限や対策・予防の観点から実施できていないことも多くあり

ますが、今回実施できた夏季活動や外出・外泊で子どもたちにとって少しでも楽しい思い出となる



ような夏休みを過ごすことができたのではないかなと思います。以前のような生活や暮らしを懐かしむのではなく、新しい生活様式から生み出される新たな挑戦も目指して実行していくことも大切なことだと思います。

「夏休みを振り返って」

エンジェルホーム かえで寮

主任 菅野 貴

今年は久しぶりに夏季活動が復活し、私自身も小学校 6 年生の夏季活動責任者として参加しました。ここ最近付き添いや運転手での参加が多かった為、責任者という立場に難しさを感じ、そこにミスも重なったりもして、子どもたちに迷惑がかかってしまったのではないかと感じました。活動先の方々にはとてもお世話になり、付き添い職員の方々にも助けていただいて、怪我等もなく無事に終えることが出来たと思っています。

夏季活動も寮外出もマイクロバスを使用することが多くあります。今回の夏季活動でも責任者と運転手を兼務しましたが、負

担を考えると運転できる職員が増えて欲しいと思っています。また、それにより各寮に運転できる職員が配置されれば、運転手の確保を考えずに外出の計画を考えられ、子どもたちの要望に応えられることも増えるのではないかと思います。これに関してはあくまで個人的な意見で、強制する意図がないことはご理解いただきたいと思います。

専門職からご挨拶

☆里親支援専門相談員☆

エンジェルホーム 松森奈緒子

4 月から、里親支援専門相談員になりました。当初は里親支援専門相談員として何を求められているのか迷うことが多々ありました。そして、コロナの影響で里親さんとの交流や他施設の里親支援専門相談員との情報共有などの場がなく、里親制度を理解すべき自分の浅薄な知識に歯痒さもありました。その中でも、子供の町の里親支援専門相談員とともに、里親サロンの開催、春日部市広報誌への里親制度の掲載依頼（10 月に掲載予定）、里親制度普及の為のパネル展の実施（今後実施予定）等、少しずつ活動の範囲も広がりつつあります。周囲の方々にこの活動を理解していただくことが、里親制度の理解や里親さん方への協力になると確信しています。

また、前年度から、埼玉県子ども安全課の事業として「さいたまフレンドほーむ（週末・季節里親）」事業が始まりました。家庭生活が体験できない子どもたちがこの制度を利用し、様々な大人から見守られている実

感、大切にされている安心感に繋がれるよう、私も微力ながらサポートできればと思います。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

☆自立支援担当職員☆

エンジェルホーム 飛鳥馬のぞみ

今年度 4 月から自立支援担当職員が配置されました。

自立支援担当職員は、施設入所中の児童の自立に向けた準備から、施設退所後の支援に至るまで、総合的な自立支援を担う専門職です。昨年までは家庭支援専門相談員がその仕事を担っていました。そのため、業務が煩雑になり、アフターケアも何かあった時に対応するといったような状況でした。今年度から専門職として配置されることになり、より手厚い支援が期待されるところです。まだまだ試行錯誤の状態ですが、今までの経験を活かし、専門職としてのスキルを身に付け、施設としての自立支援の基礎を築いていけたらと思います。

あれこれ

◆6 月 28 日＜後援会役員会、定時評議員会＞

後援会の役員会が開催され、令和 3 年度事業報告と令和 4 年度事業計画が承認されました。また、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大のためバザーは中止となりました。

その後、定時評議員会が開催され、令和 3 年度の事業報告の承認と新しい理事の選任がされました。

◆7 月 1 日

卒園生の A さんから突然電話、前任の施設長が対応していると思い矢継ぎ早に近況を語りだす A さん。少し落ち着き、前施設長は定年で退職した旨伝え、びっくりな様子でした。「子供の町の出身者で就職を探している人がいれば、仕事を紹介したい」という内容の電話でした。卒園してからも施設の子どものことを思い連絡くれたことに感謝です。

◆7 月 2 5 日<高校生ボランティア>

地域の高校生 2 名が、施設内の除草作業を行なってくれました。暑い日でしたが、黙々と働く姿に感心しました。今後も活動に来ていただけるとのことで若い力に期待

が膨らみます。

◆<2022 年夏休み>

3 年ぶりに行動制限がない夏休みを迎えました。感染対策を講じたうえで外出や園内行事を実施することが出来ました。残念ながら、夏祭りは感染者が複数発生し、延期することとなりましたが、3 年ぶりに夏休み行事を楽しむことができました。

◆<夏休み、中高生園長面談>

夏休み期間に中高生との面談を実施しました。一対一で個別に話を伺う機会はとても貴重な時間でしたが、子どもたちは緊張してあまり話せない子もいました。子どもたちの意見を出来る限り施設運営にも活かしていきたいと思います。



R4 年 6 月～R4 年 9 月に寄付金・寄付品を頂いた方々（順不同・敬称略）

芦澤千恵美

池田樺威

植田有希

春日部地区更生保護女性会

児玉みね子

豊春会

鈴木美子

中条紀孝

松坂友寛

三橋芳勝

コストコ新三郷倉庫店

(株)YTSUN

(株)イシモ建設

BNR

(株)ブライトファーム大久保

春日部夢らんど

ピーアール(株)

倉田美香

和泉英仁

内堀医院

北田幸一

シマダマサエ

食卓クラブ

田口希一

成竹雅哉

松本伸一郎

村山琢也

朝日管財(株)

(株)伊勢惣

(株)光陽社 自習ノート事務局

大和証券(株)浦和支店

(有)東武管工設備

内牧夢らんど

他匿名の方々

荒木嗣則

井上修

大野賢司

木村亜矢子

島村総一郎

杉谷等

田中文男

広松三和子

松本哲

渡邊大智

(株)UYEKI

(株)アイエヌジー

サイバーステップ(株)

(株)レガシー

浜友観光(株)

平方夢らんど

*子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>

後援会へのお問い合わせ 事務局 TEL 048-746-0206